

および貫入岩類（地質単位； α K）中に分布し、おおむね 3 箇所の変質帯群と、孤立して点在する変質帯とがみられる。変質帯群としては、北東端部の N-S ないし NNW-SSE 方向のリニアメントに囲まれる変質帯群（LM001～LM004 および LM016～LM028）、中央北部で平行する 2 条の N-S 方向のリニアメント沿いに認められる変質帯群（LM014 および LM015）、北西部にやや散在する変質帯群（LM005～LM012）の 3 つの領域が挙げられる。

c) リニアメント

本地域から判読・抽出されたリニアメントは、以下に記載するように大きく 6 つの領域に区分され、各領域ごとにおおむね以下のような特徴を有する（Fig. II-2-18）。

北東端部域では東西方向に約 15km の幅をもつ範囲に N-S 方向と NNW-SSE 方向～NNE-SSW 方向の 2 列のリニアメントが断続的に連続し、この中に前述した LM001～LM004 及び LM016～LM028 の変質帯が認められる。

Cholila の南方域には、2 ないし 3 条の N-S 方向のリニアメント（最大延長：約 36km）と、これらにほぼ直交する WNW-ESE 方向のリニアメントが数条認められ、この中に LM014 及び LB015 の変質帯が認められる。

北部チリ国境域には連続性のよい N-S 方向ないし NNW-SSE 方向のリニアメント（最大延長：約 25km）が卓越する。特に、北西端部の国境沿いには 4 ないし 5 条のリニアメントが平行して発達する高密度域が形成され、これらの東側に LM005～LM012 の変質帯が認められる。

中央西部国境域には、NNW-SSE 方向、NNE-SSW 方向および E-W 方向のリニアメントが錯綜した高密度域が形成され、この東側に LM030 の変質帯が認められる。

南部国境域には NNE-SSW 方向、E-W 方向および NNW-SSE 方向のリニアメントが錯綜した高密度域がある。これらのうち、平行する 4 条の NNE-SSW 方向のリニアメントは連続性がよく（間隔に規則性はみられない）正断層的性格を反映していると解釈される。本領域の周辺では変質帯は認められない。

南端部国境域には NW-SE 方向、E-W 方向及び NE-SW 方向のリニアメントが錯綜した高密度域が形成され、LB032 の変質帯のみが本領域の北部に認められる。なお、広域的には本領域と中央西部国境域は、南部国境域の NNE-SSW 方向のリニアメントによって切られ、その北部と南部に分断されていると判断される。

d) 褶曲構造・環状構造

本地域には褶曲構造と環状構造はいずれも認められない

7) Plaza Huincul 地域

a) 地質単位

本地域に分布する岩石と堆積物は合計で 22 種類の地質単位に区分された（Fig. II-2-21, Table II-2-8）。それらのうち、8 種類の地質単位は三畳紀から第三紀までの堆積岩類に対比可能であり、

6 種類の地質単元は三畳紀から第四紀までの火山岩類に対比可能である。また、4 種類の地質単元は第四紀の未固結ないし半固結堆積物に相当する。これらのほか、1 種類の地質単元は古生代の主として片岩類に対比可能であり、1 種類の地質単元は古生代に生成した貫入岩体に対比可能である。なお、1 種類の地質単元が岩脈と判定され、1 種類の地質単元が変質帯と判定された。

b) 変質帯

本地域では合計 9 箇所の変質帯が抽出された (Fig. II-2-21, Table II-2-21)。これらの変質帯は、全て南西端部に分布する三畳紀の火山岩類中にまとまって認められる。変質帯の規模は最大のものが $2\text{km} \times 0.5\text{km}$ (PH005) で、このほかのものは全て 1km^2 以下である。変質帯の分布形態は一般に不規則楕円状を呈している。これらの変質帯の近傍には NW-SE 方向で平行する数条のリニアメントが認められる。

c) リニアメント

本地域から判読・抽出されたリニアメントは、以下に記載するように大きく 4 つの領域に区分され、各領域ごとにおおむね以下のような特徴を有する (Fig. II-2-21)。

西部域には連続性のよい N-S 方向のリニアメント (最大延長: 約 18km) が卓越する。これらのほか、西部には 5km 程度の長さをもつ NW-SE 方向のリニアメントがまとまって発達する。これら全てのリニアメントは、主として白亜紀の堆積岩類 (地質単元: Kis1) 中に分布し、周辺に変質帯が認められない。

中央部域には E-W 方向と NW-SE 方向のリニアメントが認められ、前者の最大延長は約 10km 、後者の最大延長は約 8km である。これら全てのリニアメントはジュラ紀から白亜紀にかけての堆積岩類中に分布し、周辺に変質帯は認められない。

南西部域には NW-SE 方向で平行する 5 条のリニアメントと、これらが分布する北部及び南部に各々 1 条の NNE-SSW 方向を示すリニアメントが認められる。NW-SE 方向のリニアメントの周辺及び近傍には本地区で抽出された 9 箇所の変質帯がある。

南西端部域には連続性のよい NNE-SSW 方向のリニアメント (延長: 約 25km) と、これに斜交する NE-SW 方向のリニアメント (延長: 約 15km) および ENE-WSW 方向のリニアメント (延長: 約 30km で東端はほぼ同方向のリニアメントによって切られる) が認められる。そのほかでは、南端部に NNW-SSE 方向のリニアメントが 2 条認められる。これら全てのリニアメントはジュラ紀から白亜紀にかけての堆積岩類及び第三紀の火山岩類中に分布し、周辺に変質帯は認められない。また、北東部には NNW-SSE 方向のリニアメント (延長: 約 15km) が認められる。

d) 褶曲構造・環状構造

褶曲構造としては、本地域の西部に広く分布するジュラ紀から白亜紀にかけての堆積岩類 (地質単元: Kis1, Kis2 及び Jms) には多数のベッディングが発達しており、これらの丹念な追跡によって明瞭な背斜構造と向斜構造の繰り返しが数箇所では把握された。褶曲軸の方向はいずれも N-S 系を示し、最も長いものは北西部にみられる背斜軸で 40km 以上の延長を示し、本地区から

Table II -2-8 Characteristics of photogeologic units of the Plaza Huincul area

Unit	Photo-Characteristics		Morphologic Expression					Superficial Cover		Probable Lithology (Correlation with available Geologic Map)	
	Tone	Texture	Drainage		Rock		Section	Bedding	Vegetation		Cultivation
			Pattern	Density		Resistance					
Qa	gray, purplish red, green	very fine	meandering	very low	very low		very low	none	partly dense	partly intense	Unconsolidated sediments composed of gravel, sand, silt and clay (Holocene : Recent alluvial deposits)
Qt	gray	fine	meandering	very low	very low		very low	none	none	partly	Unconsolidated sediments composed of gravel, sand, silt and clay (Holocene : Recent talus deposits)
Qsv	purplish gray	rough	radial	low	medium-high		medium-high	none	none	none	Basic volcanic rocks (Holocene : Basalt, andesite, trachyte)
Qis2	light gray	medium	sub-parallel	low	low		low	none	none	none	Glacial deposits (Pleistocene : Gracial deposits)
Qis1	purplish	fine	sub-parallel	low	low		low	very gentle	rare	none	Unconsolidated sediments composed of gravel, sand, silt and clay (Pleistocene : Fluvial, talus deposits)
Qivb	reddish brown	rough	radial	medium	low		low	none	none	none	Basic volcanic rocks (Pleistocene : Basalt, pyroclastic rocks)
Tsv2	brown	fine	radial, sub-parallel	low	high		high	massive	partly	partly	Volcanic rocks (Pliocene : Andesite, basaltic andesite, basalt and pyroclastic rocks)
Tmv2	brown	coarse	sub-dendritic	medium	medium-high		medium-high	massive	partly	none	Mainly pyroclastic rocks (Miocene : Pyroclastic rocks, basalt, andesite)
Tmv1	gray	coarse	sub-dendritic	low	low		low	massive	none	none	Mainly pyroclastic rocks (Miocene : Tuff, ignimbrite, basalt)
Kss	gray	fine-medium	pinnate	medium	low-medium		low-medium	bedded	none	none	Fine to medium grained sedimentary rocks (Upper Cretaceous : Sandstone, mudstone, etc.)
Kss2	pinkish gray	fine-medium	pinnate	medium	low		low	bedded	none	none	Fine to medium-grained sedimentary rocks (Upper Cretaceous : Sandstone, mudstone, conglomerate)
Kss1	purplish gray	fine-medium	sub-dendritic	medium	medium-high		medium-high	bedded	none	none	Fine to medium-grained sedimentary rocks (Upper Cretaceous : Sandstone, mudstone, conglomerate)
Kis2	brown	fine-medium	sup-parallel	medium-high	medium-high		medium-high	well bedded	none	none	Fine to medium grained sedimentary rocks (Lower Cretaceous : Sandstone, mudstone, gypsum, limestone etc.)
Kis1	brown	medium	sub-parallel	medium-high	medium-high		medium-high	well bedded	none	none	Medium grained sedimentary rocks (Lower Cretaceous : Lutite, limestone, fanglomerate, etc.)
Jss	brown	fine-medium	sub-parallel	medium-high	medium-high		medium-high	well bedded	none	none	Medium grained sedimentary rocks (Upper Jurassic : Conglomerate, sandstone, shale, limestone, gypsum etc.)
Jms	brown	medium	sub-parallel	medium-high	medium-high		medium-high	well bedded	partly	none	Medium grained sedimentary rocks (Middle Jurassic : Conglomerate, sandstone, limestone, shale, tuff etc.)
TRif	gray	medium	sub-parallel	medium	medium		medium	bedded	none	none	Sedimentary rocks (Lower Triassic : Tuffs composition andesitic to dacitic)

Table II -2-8 Characteristics of photogeologic units of the Plaza Huincul area

Unit	Photo-Characteristics		Morphologic Expression				Superficial Cover		Probable Lithology (Correlation with available Geologic Map)
	Tone	Texture	Drainage		Rock Resistance	Section	Bedding	Vegetation	Cultivation
TRI	brown	coarse	Pattern	Density	high		rare	partly	none
Ps	dark gray	rough	sub-dendritic	high	high		schistose	none	none
dy	dark gray	rough	-	-	medium		-	-	-
αP	gray	coarse	sub-dendritic, rectangular	medium	medium-high		massive	partly	none
A	light gray	fine	none	low	low		none	none	none

Plaza Huincul

WR 231/87



Fig. II -2-21 The Plaza Huincul area:
Photogeologic interpretation map

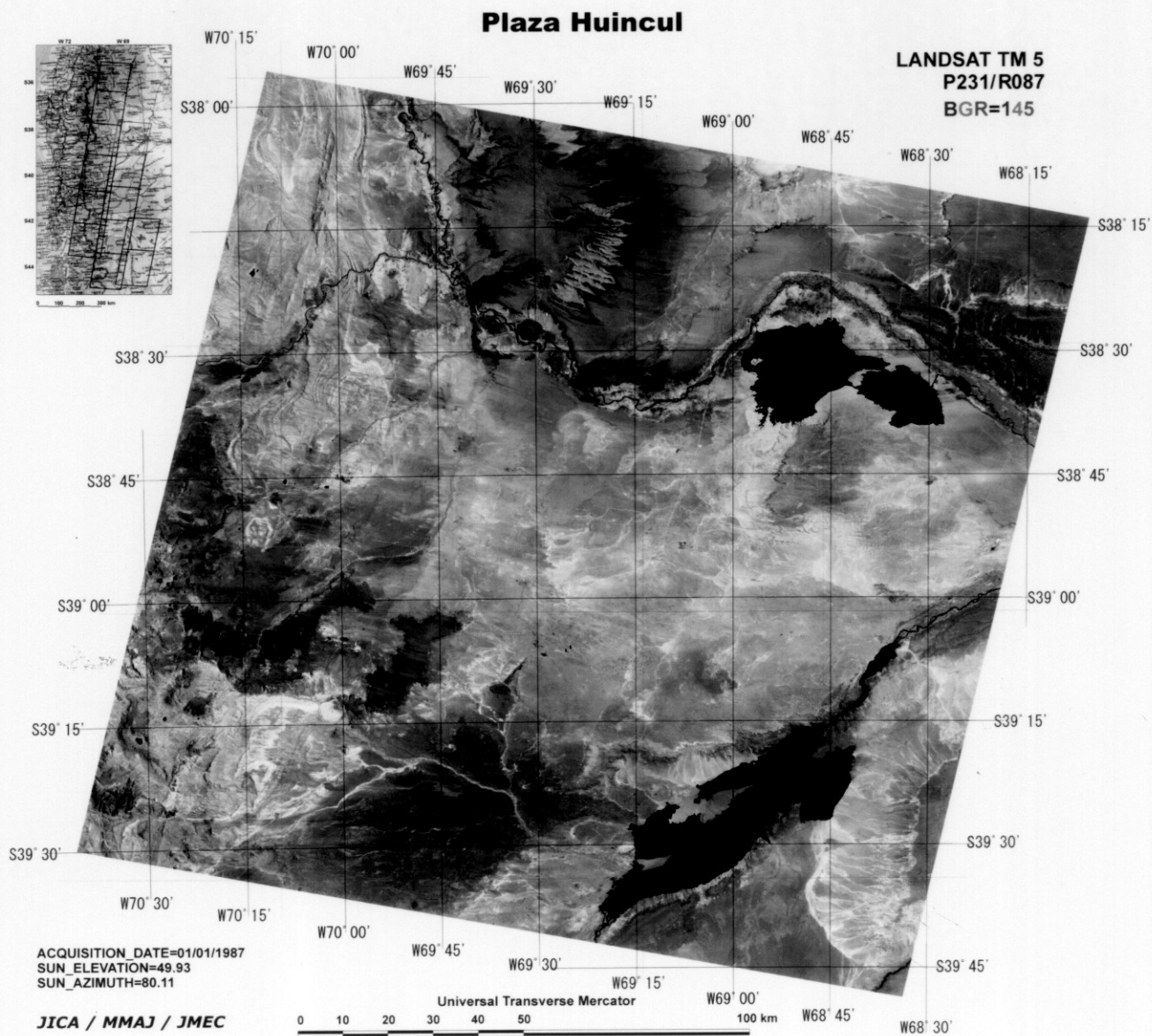


Fig. II -2-22 The Plaza Huincul area: Landsat TM false color image

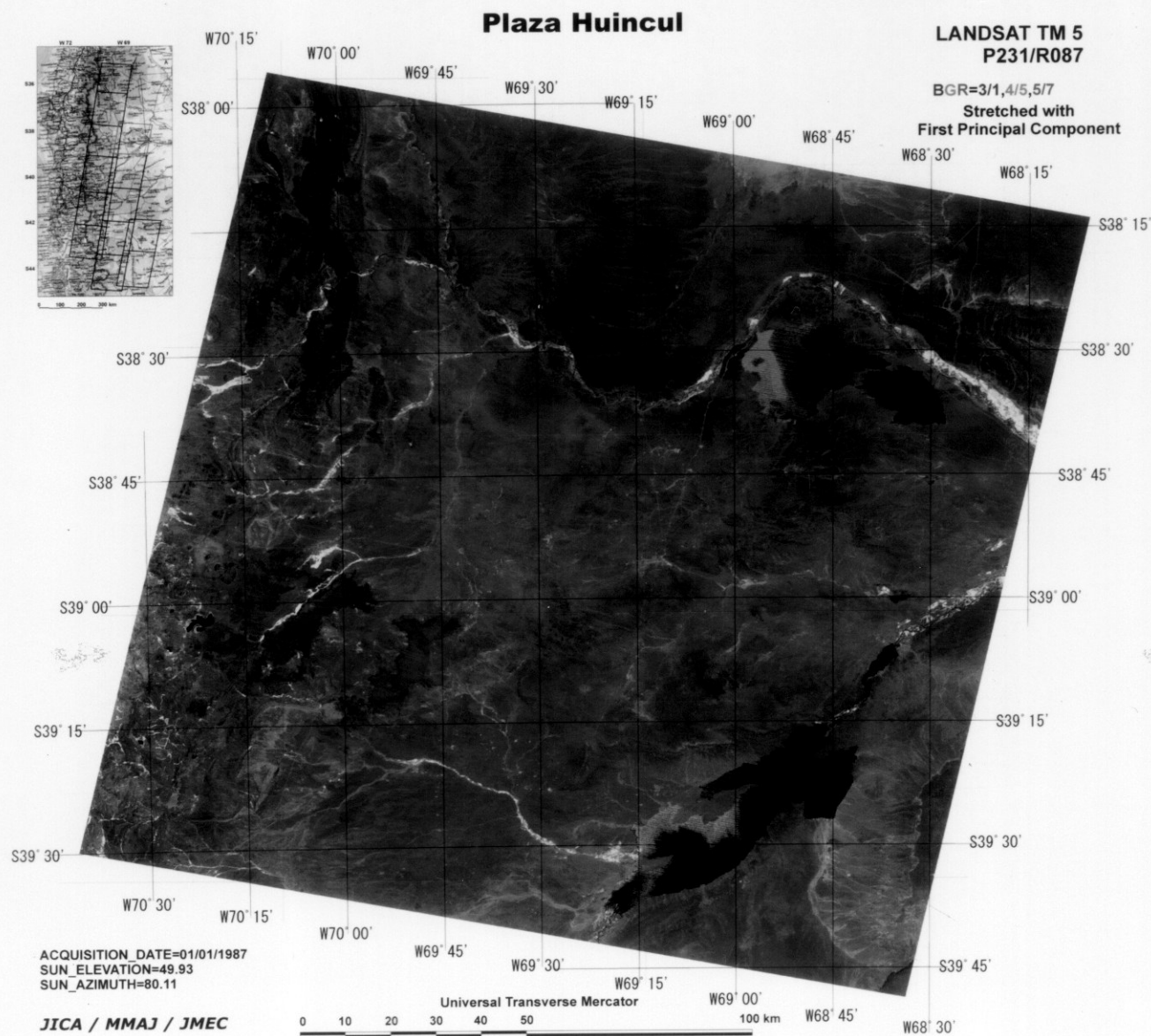


Fig. II -2-23 The Plaza Huincul area: Landsat TM ratio image

さらに北方の対象地域外へ連続する (Fig. II-2-21)。

環状構造は本地域において認められない。

8) Laguna Blanca 地域

a) 地質単元

本地域に分布する岩石と堆積物は合計で 27 種類の地質単元に区分された (Fig. II-2-24, Table II-2-9)。それらのうち、10 種類の地質単元は石炭紀から第三紀までの堆積岩類に対比可能であり、10 種類の地質単元は三畳紀から第四紀までの火山岩類に対比可能である。また、2 種類の地質単元は第四紀の未固結ないし半固結堆積物に相当する。これらのほか、1 種類の地質単元は古生代の主として片岩類に対比可能であり、3 種類の地質単元は古生代から第三紀にかけて生成した貫入岩体に対比可能であり、1 種類の地質単元は岩脈に対比が可能である。

b) 変質帯

本地域には変質帯は抽出されない (Fig. II-2-24, Table II-2-22)。

c) リニアメント

本地域から判読・抽出されたリニアメントの分布については、北西端部に若干認められるのみで、多くは中央部から南部に分布する。これらのリニアメントの分布域でも東部地域と西部地域とに若干の差がみられ、それらの領域ごとに以下のような特徴が認められる (Fig. II-2-24)。

東部域は、主として古生代の変成岩類及び第三紀の火山岩類から構成さるが、第三紀の火山岩類の分布域にはほとんどリニアメントが判読されていない。古生層中に判読されるリニアメントは NW-SE・NNW-SSE・NNE-SSW・E-W 方向の 4 系統のものが卓越する。これらのうち、NW-SE 方向のリニアメントが比較的連続性に富み、最大延長は 25km 程度である。

西部域は、古生代の変成岩類が卓越するが、ほかに主としてジュラ紀の堆積岩類、第三紀の火山岩類から構成され、N-S 方向と NW-SE 方向の 2 系統が卓越する。NW-SE 方向のリニアメントのものが連続性に富み 20km 程度を示すものも抽出された。N-S 方向のリニアメントの連続性は 5~7km 程度である。また、高密度域は中央部の古生層及びジュラ紀の火山岩類の分布域に偏在する。

d) 褶曲構造・環状構造

褶曲構造については、北西部に分布する白亜紀の堆積岩類 (地質単元 ; Kis1) 中には南部で N-S 方向の背斜構造及び向斜構造が繰り返し認められる。それより北方では NW-SE 方向の背斜構造及び向斜構造、NE-SW 方向の背斜構造、NNE-SSW 方向の背斜構造及び向斜構造、ENE-WSW 方向の向斜構造が認められる。また、北西端部の三畳紀の分布域に NNE-SSW 方向の背斜構造が認められる (Fig. II-2-24)。

環状構造は本地域において認められない。